

## IX 刈羽小学校校内研修計画

### 1 研究主題

**自立した学びができる子どもの育成**  
**～算数科における主体的・対話的で深い学びを目指して（3年次）～**

### 2 研究の方針

昨年度、新学習指導要領全面实施を受け、刈羽小学校では、算数科における主体的・対話的で深い学びの実現を目指して授業実践を行ってきた。特に、深い学びの姿とはどのような姿なのかを明らかにするため、個々の指導者が授業で目指す児童の姿をイメージしながら、そこに至るための教師の手立てについて研修を進めてきた。

生活と結び付いた課題の工夫や、発展問題につなげる学習過程の工夫、既習事項の確認と子ども同士の意見交流を通して新たな見方・考え方へとつなげる取組など、深い学びを目指した実践が提案され成果を得た。また、電子黒板や書画カメラなどを活用することで、課題提示や既習事項の確認、意見交流などを効果的に進めることができることも実感できた。一方、深い学びに向かうためには、子どもに身に付けさせたい資質・能力を明確にし、そこにつながる「見方・考え方」をより一層子ども自身が自覚できる学習の場を設ける必要があることが課題として残った。

「刈羽村子ども教育の基本計画」や「刈羽小学校グランドデザイン」では、授業づくりにおいて、一つ一つの知識がつながり、「分かった!」「おもしろい!」と思える授業の充実が求められている。

これらを受け、今年度の研修では、子どもの「やってみたい」「考えてみたい」という思いを引き出し、「分かった」「こういう見方・考え方ができた」と自覚できる授業づくりを考え、「深い学びの姿」の実現を目指していく。

### 3 研究の内容と方法

#### (1) 研究の内容

- 「たい」のある授業づくりを通して子どもが深い学びに向かうための教師の手立てはどうか。
- \* 「たい」のある授業・・・子どもの「やってみたい」「考えてみたい」といった思いを引き出す授業

<深い学びの姿とは> (例)

- 数量や図形の性質などに着目して気付いたことや考えたことの根拠を自分の言葉で説明する姿。
- 既習事項や友達の考えなどを関連付けて課題解決に取り組み、新しい見方・考え方を見付ける姿。
- 出された意見をもとに、より良い方法を考えたり共通点を探って一般化しようとしたりする姿



<深い学びに迫る手立て>

**☆ゴールとなる子どもの姿を具体的にイメージする。**

**(どんな見方・考え方をしているか。どんな発言となって表現されているか。)**

- 課題設定の工夫・・・やってみたい、考えたい、どうして?
- 教師の切り返しの発問 (問い返し)・・・どうしてそう考えたの、考えのズレを生かす、ゆさぶるなどして子どもの言葉を引き出す。

子どもが考え、子どもが説明する  
教師は、見取る、引き出す、つなぐ  
(コーディネーターとしての役割)

- 問題の答えが出てから練り上げに向かう発問の工夫
- 話し合いの焦点化
- 算数的活動（操作、実測、作図など）の充実
- ICT活用（電子黒板、タブレット、書画カメラ など）

## (2) 研究の方法

- 学年で重点単元（算数）を決め、研究授業を通して研究内容に関する提案を行う。
- 提案された手立てが有効であったかどうかを協議会で検討する。

### <授業研究のもち方>

- ・各学年で1回、研究授業を実施する。（5月～12月）
- ・授業研究は、学年部研修とする。（9月に要請訪問予定）
- ・指導案は授業者が中心となって学年で作成する。2クラスの学年は、1クラスがプレ授業を行うなどして互いにアイデアを出し合い協力して指導案を作成する。
- ・指導案の事前検討会を実施する。参加者は、学年部のメンバーとし、木嶋管指導管理主事からも事前に指導を受けるようにする。
- ・授業実施後協議会を行う。（30～40分で）
  - ・授業者の提案した手立ての有効性を考える。
  - ・具体的な子どもの姿で、授業者のねらいとする深い学びが達成できたのかを話し合う。  
（注目する児童を決めて参観する）
  - ・付箋を利用して話し合いを進める。

## 4 学力向上の取組を取り入れた日常の学習活動の実践

- ・学習規律の徹底（学びの五か条）
- ・学年テストの実施（5月、7月、9月、11月、2月の年5回）  
計算・漢字などの基礎的な内容だけでなく、思考力・判断力・表現力などを育てる問題加える。
- ・テストの結果は、お知らせカードや学年だより等を通じて保護者に伝える。
- ・筋道を立てて話す、自分の言葉で話すことへの意識化を図る。
- ・個別指導の時間（ここにこ教室）の実施
- ・計画的・継続的な家庭学習の推進  
…個の実態に応じて自分で計画を立てて取り組む家庭学習計画カードの活用、自学ノートの使い方指導、授業とつながる家庭学習、タブレットの活用等）
- ・読書指導の励行…家読カード等で家庭と連携し、語彙力・表現力・想像力を育てる。
- ・Web配信集計システムの実施と結果分析をふまえた日々の授業の取組
- ・刈羽村教育委員会指導管理主事による授業参観

## 5 その他の研修

- ・ICT活用に関する研修（タブレットの効果的活用方法など）
- ・特別支援教育に関する研修
- ・外国語教育に関する研修
- ・同和教育に関する研修
  - \* 担当者と相談し日程調整。実施計画は各担当者が立案。
  - \* 村教員会との連携もあり。

## 6 年間研修予定表

月	日	校内の研修	研修の内容	その他の研修
4	5 12	研推打合せ 職員研修	○今年度の研修についての共通理解	村教員会総会
5	10	職員研修	○生活科・総合的な学習の時間の年間計画の共通理解と情報交換（総合担当） ○公開授業（～12月頃まで）	
6				
7		職員研修	○夏期休業中 各種研修会	
8		職員研修	○夏季休業中 各種研修会 ○学習指導改善調査採点、傾向分析等研修 ○指導案検討会	村教員会夏季研修会
9		職員研修	●授業改善支援訪問（中越指導主事要請訪問）予定	
10				
11				
12			○研究の取組の振り返り （研修報告書作成→校内研修のまとめと兼ねる）	村教員会秋季研修会
1				
2		職員研修	○生活科・総合的な学習の時間の成果・課題の共通理解と情報交換 ○今年度研修のまとめと来年度の研修について意見交流	
3			○次年度研修素案作成	